

建設マネジメント技術【目次】

- 005 年頭の辞 / 国土交通省 技監 廣瀬 昌由
- 特集 担い手の確保・育成、魅力ある職場づくり**
- 008 建設キャリアアップシステム（CCUS）の普及促進に向けて
～「CCUS 利用拡大に向けた3か年計画」の状況～
／国土交通省 大臣官房参事官（建設人材・資材）付
- 014 「労務費に関する基準」について
／国土交通省 大臣官房参事官（建設人材・資材）付
- 019 国土交通省における「ジェンダー主流化」について
／国土交通省 総合政策局 共生社会政策課
- 023 建設分野における外国人材の育成・確保に向けて
～「建設分野の外国人材育成・確保あり方検討会」より～
／国土交通省 不動産・建設経済局 國際市場課 外国人材係長 長津 朋哉
- 029 建設業における1年単位の変形労働時間制のポイント
／国土交通省 不動産・建設経済局 建設業課 政策係長 寺田 直加
- 034 「公共建築工事における工期設定の基本的考え方」の改定について
／国土交通省 大臣官房 官庁営繕部 榎原 俊宏
- 038 令和7年度版「民間事業者との共創プロジェクト」の推進
／地方共同法人日本下水道事業団 事業統括部 上席調査役 河野 雅
- 044 首里城復元における伝統技術の継承・人材育成の取組
／内閣府 沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事務所 工務課長 島崎 敦
- 048 外国人材の活用と JITCO の役割
／公益財團法人国際人材協力機構
- 053 建設業の長期ビジョン2.0～スマートなけんせつのチカラで未来を切り拓く～
／一般社団法人日本建設業連合会
- 057 競争ではなく、共創を ——単独では成し得ない成長を、共に創る
～東北アライアンス建設株式会社の挑戦～
／東北アライアンス建設株式会社
- 061 大切な「人財」が長く活躍できる職場環境の構築に向けて
／藤田建設工業株式会社
- 067 もっとはばたこう もっと輝こう 私たちの未来予想図
／一般社団法人茨城県建設業協会 建女ひばり会 会長 柳瀬 香織
- 072 建設業界での人材多様化へのチャレンジ～大阪・関西万博e建機®チャレンジ～
／一般社団法人運輸デジタルビジネス協議会 事務局長理事 鈴木 正秀
- 083 高等学校土木系教育の充実と発展に向けて
／全国高等学校土木教育研究会 幹事 岡田 篤
(宮崎県立延岡工業高等学校 所属)

本誌掲載の記事を読み、学習することは「土木学会」、「建設コンサルタント協会」のCPD教育制度の「自己学習」に該当します。単位の取得につきましては、申請する各団体により異なりますのでご確認下さい。



表紙写真

「瀬戸内黎明」
撮影者：福田 尚人
(滋賀県)
撮影場所
広島県三原市
竜王山展望台

この写真是、一般社団法人建設広報協会主催、国土交通省後援、「豊かで住みよい国づくり」フォトコンテストの佳作作品です。

- 090 **特別コラム 『土木のこころ』復刊** ／寿建設株式会社 森崎 英五朗
- 092 **ティールーム 下地島空港との思い出**
／一般社団法人沖縄県測量建設コンサルタンツ協会 専務理事兼事務局長 多嘉良 齊
- 自治体の取り組み**
- 093 **北海道における住まいのゼロカーボン化に向けた北方型住宅の取組**
／北海道 建設部 住宅局 建築指導課
- 099 **都市計画道路鮎川停車場線 JR 交差部におけるアンダーパスの構造及び排水について**
／茨城県 土木部 高萩工事事務所 道路整備第一課 技師 磯山 陽平
- JapaCon レポート** 〈第8回 JAPAN コンストラクション国際賞 建設・開発プロジェクト部門 受賞〉
- 104 **第二次バルカ県送配水網改修・拡張計画**
～中東の深刻な水不足に挑む現場から～【ヨルダン・ハシェミット王国】
／(前) 大日本土木株式会社 海外支店 バルカ給水作業所 所長
　　(現) 大日本土木株式会社 海外支店 土木部 統括所長 伊川 誠
- 108 **地下鉄トムソン線アッパートムソン駅およびトンネル工事 (T212工区)**
～本邦技術で既存インフラへの影響を最小限に抑え、地下鉄の新駅・トンネルを施工～
【シンガポール】／佐藤工業株式会社 シンガポール支店 林 伸幸, 和田 良太
- 116 **モンバサ港開発事業フェーズ2 高品質なコンテナターミナル施工を目指して**
～1期工事に学び、1期工事を超える。～【ケニア】
／東洋建設株式会社 国際支店 工事部 吉野 洋一
- トピックス**
- 〈令和7年度 未来を創造する建設産業「私たちの主張」作文コンクール 国土交通大臣賞〉
- 121 **こうじげんばのひと** ／株式会社香山組 寺田 昌司
- 〈令和7年度 高校生の作文コンクール 国土交通大臣賞〉
- 123 **人を笑顔にする職業** ／金沢市立工業高等学校 土木科 2年 荒木 悠迅
- 124 **あの神社からはじまったこと**
／徳島県立阿南光高等学校 都市環境システム科 2年 四宮 渚咲
- 006 **告知** [全国高等専門学校] 第6回 インフラマネジメントテクノロジーコンテスト 2025
- 125 **告知** 日建連表彰 2026 第7回「土木賞」の募集
- 128 **身辺帳**



朝日フェンス
品質で選べば



WIRE NET & FENCE



朝日スチール工業株式会社
<https://www.asahi-fence.co.jp>

本社 〒760-8529 香川県高松市花園町1丁目2番29号 TEL 087-833-5151
東京 03-3239-4815 大阪 06-6244-1910 九州 092-471-7621
名古屋 052-932-3500 仙台 022-263-1790

建設キャリアアップシステム (CCUS) の普及促進に向けて ～「CCUS 利用拡大に向けた 3か年計画」の状況～

国土交通省 大臣官房参事官（建設人材・資材）付

1. はじめに

建設業は、社会資本の整備・管理の担い手であるとともに、災害時における「地域の守り手」として国民生活や社会経済活動を支える極めて重要な役割を担っています。

一方、就労条件や他産業と比した賃金水準の低さなどを背景に就業者数の減少が続いていることから、建設業がその重要な役割を将来にわたって果たし続けられるようにするために、担い手確保に向けた取組を強化することが急務となっています。

建設キャリアアップシステム（以下、「CCUS」という）は、建設技能者の資格や現場の就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積し、それを活用することによって、技能と経験に応じた適切な待遇につなげようとするものであり、持続的な担い手確保に向けて非常に重要な取組です。

CCUS の普及拡大に向けて、令和 6 年 7 月に「CCUS 利用拡大に向けた 3か年計画」を公表したところであり、本稿では、本計画策定から約 1 年半経過したことを踏まえ、主な施策について解説します。

2. CCUS のねらい

建設業は他産業に比べて高齢化が進展しており、建設業が引き続き優良な社会資本整備・管理の担い手としての機能を担うためには、これまで以上に若年者に選択される環境を整備することが必要であり、建設業への若者の入職を進めるためには、将来的な待遇やキャリアパスを見る形で示す必要があります。

一方で、建設技能者は異なる現場で経験を積み、また一人一人の能力が統一的に把握・評価される環境が存在せず、経験や技能の向上が待遇につながりにくい現状がありました。

こうした技能者の働き方の特徴を踏まえた上で、建設業を、一人一人の技能者が経験と技能に応じた待遇が受けられ、これから入職する若い世代がキャリアパスの見通しが持てる産業としていくために、技能者の本人情報等の真正性を確保するとともに、業界全体で技能者の就業履歴を蓄積し、技能者の待遇改善につなげる仕組みとして、CCUS が整備されました。

CCUS の運用開始により、技能者は技能や経験に見合った適正な評価を受け、待遇へ反映されることが期待されるほか、建設業に再入職する際に、自身の技能や経験を簡易に証明することが